

社団法人 地盤工学会  
地盤調査規格・基準委員会  
平成23年度第3回 議事録

日時	平成23年 12月16日 (水) 14:00~17:15			場所	地盤工学会 会議室			
委員長	谷 和夫	○	幹事 (岩)	長田 昌彦	○	幹事 (土)	利藤 房男	×
委員	浅古 勝久	×	WG1委員	松島 潤	×	WG1委員	斉藤 秀樹	○
WG2委員	木村 英雄	○	WG2委員	水谷 崇亮	○	WG3委員	井尻 裕二	×
WG3委員	小松 満	○	WG4委員	平林 弘	○	WG5委員	小早川 博亮	○
WG5委員	山本 裕司	○	WG6委員	中村 洋丈	○	WG7委員	浅井 健一	○
WG7委員	藤崎 勝利	○	WG8委員	日比 義彦	○	WG8委員	藤根 拓	○
WG10委員	太田 英将	○						

○：出席    ◎：代理出席    ×：欠席    △：未定

**配布資料**

委員会名	資料	資料の有無・番号
地盤調査規格・基準委員会	・ 前回議事録 (H23-9-12)	・ 資料23-3-1
ワーキング1~10	・ 解説	・ 資料23-3-2 WG1~WG10
地盤調査規格・基準委員会	・ 著作権の確認に関して	・ 資料23-3-3
基準部会	・ 平成23年度 第4回基準部会報告	・ 資料23-3-4
会員からの質問		・ 資料23-3-5
調査関係基準一覧		・ 資料23-3-6

**審議事項**

(1) 前回議事録確認 (資料23-3-1)

- ・ 特に意見なし
- ・ なお、報告事項 (3) のJIS改正にかかる審議委員会への出席者の確認が行われた。

(2) ワーキング1~10 解説 (資料23-3-2 WG1~10)

各ワーキングからの報告に基づき、進捗状況およびページ数の確認を行った。すべてのWGで80%以上の執筆状況にあり、前回調査時と比較してページ数も大きな変更はないと想定される。大きな変更がある場合には、予め幹事に知らせることとした。

以下、審議した順に、ポイントと大きな変更点、検討すべき課題と意見、および議論した内容を列挙する。

**【WG5】**

- ・ プレッシャーメータ試験関係の3基準に対する解説は一つにまとめている。
- ・ 平板載荷試験関連の3基準に関しては、それぞれで解説を書いている。  
(課題) ・ 土と岩の用語の統一などが難しい。用語集との対応も検討。  
(意見) ・ これまでの青本の記述では載荷位置に関する質問が多いので、この点がすっきりするような記述にしてほしい。  
(意見) ・ 変形係数、ヤング率などの用語の使用に関する経緯を書き加えてほしい。

**【WG10】**

- (共通事項) ・ 表記を「引用・参考文献」に統一する。

(確認事項)・参考文献の番号の付け方は、執筆要領では、節ごと(執筆担当者ごと)のまとめでよいことになっているが、最終的には章ごとのまとめとしたい。WGではどこまでをやる必要があるかを確認する。

【WG9】

- ・最新の目次案が示された。大きな変更点としては「地形」の節を入れたこと。
- ・次回に、解説全体の審議をお願いします。

【WG8】

・前回議論した共通する表の掲載について、必要に応じて、同じものを各章に掲載する場合と、片方だけに掲載する場合に分ける。

(共通事項)・図表番号の付け方を、編番号を削除し「図一章. 節. 番号」に統一する。

【WG7】

・データシートの改定方法について、基本的には各WGで最終版をつくり、表記委員会でチェックを受けることになる。

(共通事項)・引用および参考の仕方について

1) 文献から文章を段ごと持ってくる場合や図表を引用する場合、「引用」とし、著者名+上付番号で表す。

2) 引用箇所が数行である場合には、「参考」として上付き番号のみとする。

【WG6】

・会員からの質問の多いデータ点数については、解説に書く。

(議論)・引用文献で「内部資料」と表記されているものは、所有元に資料提供をお願いしてはどうかとの意見があり、その方向で検討することとした。

【WG4】

(共通事項)・図表のトレースについて、前と同じ図表を用いる場合は、「前回と同じ」と明記する。一部変更する場合には、その旨を手書きで記せばよい。

(共通事項)・株式会社や法人などの表記について、

- 1) 取ってしまうと、曖昧となるものについては、その略称をつける。株など
- 2) 地盤工学会、土木学会など、学会名にはつけない。
- 3) 会社名は、省略せずに記載する。高速道路株など。

【WG3】

・前に申請した130ページは、減りそうである。

・青本を用いたWG3の内容の講習会については、事業部と打ち合わせる。

(確認事項)・改定、改訂、改正の使い方を確認して、統一する(執筆要領に間違いが多い点も要確認)

(確認事項)・章ごとに引用・参考文献を記述している。参照：WG2資料，p. 56/57

・新規基準化WGは2つとも検討を継続したい。来年度第1回の本委員会に趣意書を提出予定。

【WG2】

・第5章で、これまでの3章分(5から7章)をまとめている。

・第8章大きく改変。目次建てを変えている、サンプラーの一部を削除、一部を追加している。

(お願い)・他に記載すべきサンプラーがあれば教えていただきたい。

なお、途中に関係のない資料がはさまっているので削除。

【WG1】

・GPR(ジーピーアール)→GPRのみとする。(読みをカタカナ読みする場合は頭文字だけとする)

(意見)・図番号は、ゴチックにする。

(3) 著作権の確認に関して(資料22-3-3)

表の項目を検討した。以下の点を、利藤幹事および事務局に確認する。

- 1) 表題にある（オリジナル作成で転載許可が必要なくても記入してください）の意味が不明  
→伊佐治氏に確認→削除する。
- 2) 文章を引用する場合、2-3行ならば「参考」と考え、1段落以上ならば「引用」と考えて、ここに記載する。
- 3) 地盤工学会が著作権を有しているものは、リストに載せないでよいか。  
→伊佐治氏に確認→載せてほしい。
- 4) 右から3列目（原著作者への転載許諾の申請状況欄）の記入はどうか。  
→伊佐治氏に確認→右から3列は記入なしで作成してよい。3月を目処に。
- 5) 「著作者の氏名・連絡先」については、分かる範囲で記入していただく。

本委員会としては、地盤工学会が著作権を有しているものは記載しない、原著作者への転載許諾については本様式に記入して学会の方から一括して依頼していただくようお願いすることとした。

#### (4) 基準番号の付け方に関して（資料22-3-6）

基準番号の付け方に関して、若干混乱が生じているため、新基準番号の付け方を含め、議論した。なお、基本的には、青本の中に、基準番号の付け方が示されている。

（決定事項）

- ・下記、3つの基準番号については、提案通りとする。

■土壌硬度試験方法→JGS3431-2011

■針貫入試験方法 →JGS3432-2011

■ボアホールジャッキ→JGS3532-2011

- ・基準の中身が変わったもの、改訂したものについては、番号を付け替えてもよいこととする。

（継続審議事項）

・JGS1421「地盤の指標値を求めるためのプレッシャメータ試験」（公示済）については、今回載荷試験の分野に属していること（14xx番台はサウンディングの分野を示す）から、JGS1421は廃止してJGS1531などとしてはどうかとの意見があった。そのままにしたほうが混乱が少ない、サウンディングは深さ方向の物性を測るものである、との意見があった。結果、継続審議とすることとした。

#### 報告事項

- (1) 基準部会報告（資料23-3-4）
  - ・特に意見なし。
- (2) 会員からの質問（資料22-3-5）
  - ・これらの質問ができるだけ来ないように、解説執筆内容に反映させる。

#### 解説に関する今後の予定

- (1) 次回までに、ファイル名の付け方、まとめ方（デジタルファイル形式）、最終ファイルの提出の仕方を、利藤さんがまとめやすいような指示を出していただくようお願いする。
- (2) 次回は未審議のもののみを提出し、既審議のものについては大きな変更点や審議してほしい部分のみを提出する。
- (3) 公表済の基準のうち、未だ小冊子となっていないものを確認のうえ、幹事宛に連絡する。それを元に、小冊子の作成を事務局に依頼する。

#### 【追加情報】 ページ数のカウント方法

基準 1段組 56文字×54行で1ページ

解説 これまでのフォーマット3ページで、刷り上り1ページとなる。

次回開催日は、2/28、3/1のうち、利藤さんの都合で決める。

次回は、2012年2月28日（火）14:00～ 地盤工学会 とした（メール送付済）。